

生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付について

この生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付は、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的に収入が減少し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、当座の生活資金を貸付けるものです。今回の特例貸付は全国で実施されており、熊本県では緊急小口資金が3月25日(水)から、総合支援資金が4月15日(水)から申込みを受け付けています。

両資金とも一世帯につき一回限りの貸付となり、主な貸付内容は以下のとおりです。

区 分	緊急小口資金	総合支援資金
対 象 者	新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルスの影響を受け、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限額	・10万円以内 ・20万円以内 (小学校等の臨時休校等の特例)	・(2人以上)月20万円以内 ・(単身) 月15万円以内 ・貸付期間:原則3月以内
据置期間	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子
保証人	不要	不要
申込先	現在お住まいの(住民票のある)市町村社会福祉協議会	現在お住まいの(住民票のある)市町村社会福祉協議会

4月26日(日)現在の借入の申込みは、緊急小口資金では2,300世帯(貸付予定額3億6千万円)を超え、総合支援資金では80世帯(貸付予定額4千3百万円)を超えています。

社会福祉振興基金助成事業のご案内

令和2年度も、次の内容で公募による助成事業を行います。

No.	助成対象事業名	助成対象団体	予 算 額	応募締切
			助 成 額	
1	安心生活支援活動推進事業	市 町 村 社 協	500万円 1事業の上限額100万円(計画策定は上限30万円/地域の見守り・支え合い活動は上限20万円)	5/29(金)
2	民間福祉団体活動推進事業	民 間 福祉団体	150万円 1事業の上限額50万円(対象経費の2/3以内)	6/1(月)
3	各種大会開催への助成		100万円 九州規模の大会は上限額10万円 全国規模の大会は上限額15万円	
4	小規模団体活動支援事業	小 規 模 団 体 等	100万円 1事業の上限額10万円(対象経費の2/3以内)	

○詳細については、事業ごとの実施要領により随時お知らせします。

安心生活支援活動推進事業のご案内

市町村社協を対象に、次の内容で公募による助成事業を行います。(助成総額 500 万円)

- 事業実施期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日の 1 年間
- 重複して対象事業を申請する場合は、それぞれを加算。ただし 1 社協の助成上限は 100 万円。

No.	助成対象事業名	上限額	概 要	応募締切
1	地域における包括的支援体制を強化するための先駆的・先進的事業	100 万円	多世代の居場所づくり、住民参加在宅福祉サービス、他機関協働の地域づくり事業、経営基盤強化のための財源確保事業など	5/29 (金)
2	地域福祉活動計画の改訂・社協発展計画の策定・改訂促進事業	30 万円	地域福祉計画の改訂及び同活動計画を具体的に推進するための社協発展強化計画の策定・評価・見直しに必要な事業	
3	地域の見守り・支え合い活動促進事業	20 万円	住民主体の見守り支援活動やサロン活動の促進、コミュニティ形成のための取り組みなどを新規に実施する場合	

※ 詳しくは、地域福祉課(096-324-5470)へお問い合わせください。

福祉のこと、もっと知りたい！「福祉の仕事 職場体験事業」

福祉や介護の仕事について、経験はなくても関心がある方や、関係する資格を有しながら業務に従事していない方などを対象に、体験を通して福祉の仕事への理解を深めていただく事業です。

昨年度は、44事業所で145人の方が延べ319日参加し、うち10人の方が福祉や介護の仕事に就職しました。

本年度も次のとおり、実施しますので多数のご参加をお待ちしています。

＜対象＞ 福祉や介護の仕事に関心がある方等。資格取得のための実習は対象外。

＜職場体験受入費用＞ 体験受入事業所には、体験者1人1日あたり「体験受入費用」3,000円と「昼食費用、送迎・交通費支給費用」1,000円を合算して県社協が支給。(昼食は原則受入事業所でご提供いただきます。)

申込書は、次のURLからダウンロードしてください。(http://www.fukushi-kumamoto.or.jp)

＜申込締切＞令和 3 年2月26日(金) 詳しくは福祉人材・研修センターまで

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、事業を中止する場合があります。



夢が広がる！福祉の仕事 魅力発信出前講座！！



学校や社協が企画する講座に、地元の福祉・介護分野の福祉施設で働く職員を講師として派遣し、若者の福祉の仕事に対するイメージアップと理解を促進します。

＜対 象＞ 県内の中学・高校・専門学校・大学等の生徒、学生等

＜費 用＞ 無料

申込書は、次の URL からダウンロードしてください。

(http://www.fukushi-kumamoto.or.jp)

＜申込締切＞令和 3 年 2 月 26 日(金)。詳しくは福祉人材・研修センターまで

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、事業を中止する場合があります。

車椅子寄贈のお礼 ～ 一般財団法人えがお健幸財団様 ～

4月8日(水)、一財)えがお健幸財団様から県内の市町村社協に対して車椅子 10 台が寄贈されました。この寄贈は、(株)えがおの社員の皆さまから寄せられた浄財等によるもので、平成 27 年から今回の寄贈で合計 50 台になりました。寄贈式は甲佐町社協で開催され、受贈社協を代表して、甲佐町社協の奥名会長が謝辞を述べられました。今回の寄贈先は水俣市、天草市、合志市、美里町、和水町、御船町、甲佐町、津奈木町、山江村、あさぎり町の 10 社協です。寄贈された車椅子は、様々な福祉活動で活用されます。



【右：えがおの伊藤室長
中央：奥名会長】

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務企画課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
◆ホームページ「バナー広告」の募集◆ 本会ホームページでのバナー広告を募集中です。 広告の位置 本会ホームページの下部 広告の枠数 最大8枠 広告の規格 大きさ 縦50ピクセル×横146ピクセル 広告掲載料 1か月あたり5,000円 掲載希望期間 1か月単位で、最長12か月まで ※詳細は、総務企画課までお問い合わせください。	◆児童福祉週間が始まります◆ ～やさしさに つつまれそだつ やさしいところ～ 厚労省、全社協及び児童育成協会では、毎年5月5日～11日の1週間を「児童福祉週間」と定め、児童福祉の理念の普及啓発のため、各地域において様々な事業や行事が実施されます。 
施設団体支援課	福祉資金課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
◆ソウェルクラブ会員交流事業 本年度の開始時期延期のお知らせ◆ 例年6月から開始している会員交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開始時期を延期することといたしました。 開始時期は未定のため、決まり次第別途お知らせします。参加をご検討いただいていた皆さまには、申し訳ございませんが、何卒ご了承くださいますようお願いいたします。	◆令和2年度 不動産担保型生活資金 貸付利率は0.95%◆ 本年度の「不動産担保型生活資金」及び「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」の貸付利率は、年0.95%です。この貸付利率は、制度要項で「年3%又は当該年度における4月1日時点の長期プライムレートのいずれか低い方を基準とする」とことになっており、4月1日現在の長期プライムレートの利率が年0.95%との日本銀行から発表されたことによるものです。
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
◆介護支援専門員実務研修受講試験 令和2年度「試験案内」を配付します！◆ 配付期間 6月1日(月)～7月10日(金) 配付場所 県社協(福祉人材・研修センター)及び県認知症対策・地域ケア推進課の2ヶ所 ※郵送でも試験案内の配付を行います。 詳細は、県社協ホームページでご確認ください。 申込受付期間 6月1日(月)～7月10日(金) 消印有効 試験科目 10月11日(日) 試験会場(予定) 熊本大学	◆リーフレットをご活用ください◆ 当センターでは、「地域福祉権利擁護事業」の概要や契約までの流れを説明するためのリーフレットを作成しています。 相談者への説明用としてだけでなく、サービス利用の促進のために各市町村社協で開催される研修会などにもご活用ください。 
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	◆第13回 火の国ボランティアフェスティバル 芦水(いすい)の開催について◆
◆市町村災害ボランティアセンター設置・運営アドバイザー派遣事業について◆ 本年度も市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練やボランティア養成講座の研修等へのアドバイザー派遣事業を実施します。 事業内容の詳細につきましては、先にお送りしております要項でご確認ください。なお、派遣依頼の様式等は、市町村社協の代表メールへお送りしておりますので、ご活用ください。	令和2年11月22日(日)、芦北町民総合センター(しろやまスカイドーム)での開催が予定されております。県内のボランティアや福祉関係者が一堂に集う本大会は、どなたでもご参加頂けますので、多数のご参加をお待ちしております。 本大会の詳細については、随時、県社協ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥 🔥

令和2年度 熊本県社会福祉協議会 5月行事予定表

日	曜	◎会長	○常務	△局長	◇次長	☆部長	□課・所長	場所	開始時刻	担当	主催団体等	
1	金	☆	県保育協議会 監査						事務局	13:30	施設	県保育協
2	土											
3	日											
4	月											
5	火											
6	水											
7	木											
8	金	☆	県身体障害児者施設協議会 監査						第4会議室	13:00	施設	県身障協
9	土											
10	日											
11	月		社会福祉施設来所相談・社協活動支援・相談室(専門相談:社会保険労務士)						事務局	13:30	施設・地域	
12	火	☆	県保育協議会 第2回常任理事会						菊池市	10:30	施設	県保育協
			社会福祉施設来所相談・社協活動支援・相談室(専門相談:公認会計士)						事務局	13:00	施設・地域	
13	水		第1回介護保険施設連絡協議会						県医師会館	19:00	施設	県老施協
14	木											
15	金	☆	九州地区知的障害者福祉協会監査						福岡市	13:00	施設	九知協
		◇	県市町村社会福祉協議会連合会 監査						第4会議室	13:30	地域	県市町村社協連合会
		☆	九州地区知的障害者福祉協会 第1回会長会						ホテル熊本ニュースカイ	14:00	施設	九知協
		◇	県市町村社会福祉協議会連合会 第1回幹事会						第4会議室	15:00	地域	県市町村社協連合会
16	土	☆	教員免許特例法による介護等体験 事前講話						熊本大学	9:30	人材	熊本大学
17	日											
18	月											
19	火	☆	県社会就労センター協議会監査						未定	10:00	施設	県就労協
		◇	県民生委員児童委員協議会 第1回研修委員会							13:30	地域	県民児協
		社会福祉施設来所相談・社協活動支援・相談室(専門相談:弁護士)						事務局		13:30	施設・地域	
20	水	☆	県老人福祉施設協議会 第1回総会						ホテル熊本ニュースカイ	13:30	施設	県老施協
21	木											
22	金	◇	県民生委員児童委員協議会 監査						ケアマネ準備室	10:30	地域	県民児協
		○☆	生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会						第2会議室	13:30	資金	
23	土											
24	日											
25	月	☆	県ボランティア連絡協議会 第1回理事会						研修ホール	10:30	ボラセン	県ボランティア連絡協議会
		☆	県養護協議会 監査						第4会議室	11:00	施設	県養護協
		☆	県養護協議会 第1回施設長会議						第4会議室	13:00	施設	県養護協
26	火	☆□	県・熊本市・県社協・市社協連携会議						ボランティアセンター	15:30	地域・ボラセン	KVOAD
27	水	◇	県民生委員児童委員協議会 第1回総務委員会						未定	10:30	地域	県民児協
		○	九州地方社会保険医療協議会熊本部会							14:00	総務	九州厚生局熊本事務所
28	木	☆	教員免許特例法による介護等体験 事前講話						熊本大学	11:00	人材	熊本大学
			全国社会福祉法人経営者協議会 第2回常任協議委員会						東京都	15:30	施設	全国経営協
29	金	◇	県市町村社会福祉協議会連合会 第1回理事会						第1会議室	13:30	地域	県市町村社協連合会
			県老人福祉施設通所介護事業所職員研修会						ホテル熊本ニュースカイ	13:30	施設	県老施協
30	土											
31	日											

総務・・・総務企画課 地域・・・地域福祉課 権利・・・地域福祉権利擁護センター ボラセン・・・ボランティアセンター

施設・・・施設団体支援課 資金・・・福祉資金課 人材・・・福祉人材・研修センター 運適・・・運営適正化委員会